

## 富まちミーティング【公園編②】記録

### ■概要

日 時：2021年3月14日（日）10：00～

会 場：ゆう・ゆうプラザ（人権文化センター）

参加者：計13名

主な内容：○趣旨説明、第1回の振り返り

○グループディスカッション（ゾーニング、空間イメージについて）

○グループディスカッションの発表・まとめ

### ■ワークショップの様子



## 1 班の意見

参加者：5 名

### (1) コンセプト・テーマについて

- 『地域で育てる、まちのシンボルとなる公園』
- ○交流・にぎわい。○花みどり・癒し、○子どもの遊び、○安全安心・防災については合意

### (2) ゾーニングについて

- 騒音の問題などで周りの住宅に影響があるので、交流活動や、イベントなどで賑わう広場は敷地の中央に配置すべきである。
- 公園敷地の外周は見通しの良い緑（樹木）による緩衝帯とし、子どもが自転車の練習が出来るような園路を設けると良い。（園路は年齢ごとに色分け出来れば良い）
- 公園の空間全体は、まちと公園が緩やかにつながっているような開放的な雰囲気とし、空間を完全に仕切らないように工夫する。
- 子どもの遊びの空間については、既成の遊具ではなく自分たちの手作りによる遊具で遊ぶなど、プレイパークが行えるようにしたい。場所は南側の最も高い場所に設けて斜面を活かした遊びの空間とする。⇒ それがこの公園のシンボル。  
（例）羽根木プレイパーク
- 子育て世代や、障がい者のために小規模で良いので駐車場が必要ではないか。
- 日常使いや災害時の対応として、トイレ、電源、Wi-Fi などの設備が必要である。

### (3) 管理・運営について

- 雑草対策や騒音などの苦情対策など、公園をつくるのは良いが、管理が心配である。
- プレイパークなどの子供の居場所は、地域の中にいろいろあって選べるのが大事である。
- だんじり祭りや、盆踊りなどは地域に根付いた行事であり地域の歴史・文化である。その開催場所としても公園の活用を考えたい。→ 公園計画だけでは決められないので今後検討していく。
- プレイパークでは火を使ったりするが、公園管理のルールや担い手、仕組みについて検討していく。

## 2 班の意見

参加者：4 名

### (1) ゾーニング・利活用イメージについて

- 大きなゾーン分けについては特に問題ない。
- いちばん大きな広場と遊びの広場の間に交流ステージがあると良い。小学校などで授業があるダンスや、若者の間で流行しているスケートボードなどの練習や発表会などに活用できる。交流ひろばと遊びの広場の両方に向けて開くようなかたちが良い。
- あまり大きな屋根付きの施設は難しいということだが、四阿などの休憩施設は欲しい。交流広場でゲートボールをするお年寄り、散歩をする人、幼児連れで遊ぶ親子などが、それぞれのゾーンでゆっくりできる休憩所が思う。  
→東側の園路に、各ゾーンに隣接する場所にスポット的に休憩場所を設ける。
- 休憩場所は、防災も意識して、かまどベンチなど複合的に利用できるものを。
- 幼児の遊び場は南側にもあると良い。交番が近くにあり安心して遊ばせられるし、新しく入ってくる子育て世代にとっても使いやすくなると思う。2つの幼児の遊び場は、遊具遊びと自然遊び(地形の利用、落ち葉遊び等)それぞれ性格を分ける。
- ボール遊びについては、近隣への配慮、子ども達の安全な遊び場の確保のため、この公園では無い方が良いと思う。フェンスができると景観面でも良くない。ただし、地域全体としてボール遊びができる場所が必要なので、他の街区公園をボール遊び専用にするなど、別の場所で確保したい。
- 交流ひろばには、防災の機能を忘れてはいけない。マンホールトイレや、災害時に活用できるベンチや遊具もあっても良い。
- トイレはできないのか？放光池にもあるが、少し遠い。  
→絶対できないということはないが、予算が限られる中で、トイレに費用をかけてしまうのはもったいない。周辺の跡地活用の中で商業施設等が立地すれば、そのトイレを利用するなど、地域の中でトイレの確保を考えたほうが良い。
- 健康遊具を設置することについては賛成だが、壊れにくい健康遊具(背伸ばし等)にしたほうがよい。

### (2) 管理・運営について

- 高木を植え過ぎると落ち葉清掃など管理が大変。市が責任を持って欲しいところだが、地域任せになってしまうと思うので、管理が大変なものはないほうが良い。
- 景観面での配慮は必要。葉が落ちる樹木ではなく、藤棚のような、花も楽しめるような緑道にしてはどうか。

### 3 班の意見

参加者：4 名

#### (1) 公園のゾーニングについて

- ゾーニング（案）の構成でよい。
- ⑦周辺等、ゾーン間の地形を利用した空間づくりが良い。
- ⑦は、（フェンスのある）アクティブゾーンでよい。
- 名前は、幼児広場ゾーン⇒チャイルドゾーン、あそびのひろばゾーン⇒キッズゾーンがよい。

#### (2) 公園の空間イメージについて

- 全体として：仕切りが無く、誰もが自由に使える空間。
- ① まちかどゾーン
    - 花を育てる場所にしてはどうか。
    - 集まれる、休める場所が良い。
  - ② にぎわいストリートゾーン
    - キッチンカー利用等、にぎわいのある使い方ができる場所で良い。
    - 歩道と区切ることは、したくない。
  - ③ 緑の散策ゾーン
    - 緑があって、ゆっくり休める場所が良い。
  - ④ 交流広場ゾーン
    - B B Q等、何にでも使える広場がよい。
  - ⑤ チャイルドゾーン
    - 小さな子供用遊具のある遊び場でよい。
    - 水遊びができる場所がよい。
  - ⑥ キッズゾーン
    - 大型のネット遊具は、放光池公園にある。
    - 通常的大型遊具等ではなく、アスレチックのような運動に使える遊具がよい。
  - ⑦ アクティブゾーン
    - 例えばバスケットやスケボーのプロ等に来てもらえるような施設にして、周辺以外からも人が集まる空間にしたい。
- その他
- 随所に設けるベンチは、かまど等の防災機能を持ったものにする。
  - トイレは、2箇所必要。また、防災用に倉庫を付帯させる。

## まとめ

各班のゾーニング案の共通点を確認し、意見が分かれた内容については、シールで投票と全体ディスカッションを行って方針をまとめた。

### 【意見】

- 枠を決めて区切ってしまうと、空間が分けられてしまい、使いにくい場所ができてしまうので、空間を区切る必要はないのではないか。
- ある程度ゾーニングをしておかないと、新しく利用する人などは使いにくく感じてしまう。特に小さい子どもは安全に遊びにくくなるため、幼児のスペースは必要。

### ゾーニングの方針まとめ

#### ○場所を区切らずにゆるやかにつながる、一体感のある公園とする。

- ・まちから入りやすく。緑と園路でやわらかくまちと公園をつなぐ。
- ・年齢層毎の居場所をつくるが、空間を区切るような施設は極力つくり、一体感のある空間とする。

#### ○年齢層毎の自由な遊びを大事にした遊びの場づくりを行う。

- ・幼児用には、安心して遊べる場所をつくる。遊具がある場所と、自然遊びのできる場所の両方があればよいのではないか。
  - ・ボール遊びできる広場、地形や環境での遊びやプレイパークとして活用できる広場をつくる。
- ※ただし、景観や安全面への配慮を行う必要がある。また、ルールについては今後検討していく。

#### ○日常もイベント時や災害時にも使いやすい施設・設備を設ける。

- ・中央に交流ステージを設ける。子どもたちがダンスの練習・発表や舗装面を使った遊びで使えるようにする。
- ・園路に沿って休憩できる場所を設ける。
- ・トイレ+倉庫、コンセント盤や水場 など、日常にも災害時にも使いやすい施設・設備を設ける。

### 【意見】

- プレイパークなどでルールをしっかりと決めた場合に火の使用が可能であるなら、バーベキューなど違った使い方にも広がっていくことができると思う。

管理運営についての意見もたくさん出ていた。次回は、計画案の確認と、ゾーニングに込めた使い方を可能にするための管理運営を次回のテーマとする。